

会 議 録

会議の名称	令和8年度第2回佐渡市総合計画審議会
開催日時	令和8年8月 20 日(木) 13 時 30 分から 15 時 05 分
場所	金井コミュニティセンター ホール
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 佐渡市総合計画(後期基本計画)の位置づけについて (2) 前期計画の振り返りについて (3) アンケート、ワークショップ実施結果の検証について (4) 第3期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について (5) 計画素案の審議について (6) 策定スケジュールについて (7) その他 4 閉 会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	佐渡市総合計画審議会委員 34 名 (事務局) 企画部総合政策課 課長 金子 裕介 企画部総合政策課 課長補佐 福嶋 雅麗 企画部総合政策課 政策推進係 調査員 山本 裕士 企画部総合政策課 政策推進係 主事 和田 浩樹 企画部総合政策課 政策推進係 主事 絞張 美波
会議資料	○資料No.1 佐渡市総合計画(後期基本計画)の位置づけ(案) ○資料No.2 前期計画(令和4年度から令和8年度)の振り返り ○資料No.3-1 【概要】令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)効果検証 ○資料No.3-2 【詳細】令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)に係る事業実施結果報告 ○資料No.4-1 【詳細】令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金効果検証 ○資料No.4-2 【詳細】令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実績一覧 ○資料No.4-3 【詳細】令和6年度(令和7年度への繰越分)物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実績一覧 ○資料No.5-1 【概要】総合計画に係るアンケート調査結果(前回比較抜粋) ○資料No.5-2 【詳細】アンケート調査結果集計(各アンケートごと) ○資料No.5-3 【概要】高校生ワークショップ結果 ○資料No.5-4 【詳細】高校生ワークショップ結果(各高校ごと)

	○資料No.6 第3期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について ○資料No.7-1 【計画素案の審議】【施策1～5】分野別施策(素案) ○資料No.7-2 【計画素案の審議】「重点的・横断的な取組」骨子(案) ○資料No.8 佐渡市総合計画(後期基本計画)策定スケジュール
傍聴人の数	0 名
備考	—

会議の概要(発言の要旨)

1 開 会

発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 金子課長	○令和8年度第2回佐渡市総合計画審議会を開会させていただく。 審議会終了後には各施策部門の部会に分かれ、具体的な分野別施策について議論いただくが、忌憚のないご意見をいただきたい。

2 会長あいさつ

発言者	議題・発言・結果等
会長	○5月に第1回の審議会を開催し、市長から佐渡市総合計画、後期基本計画の策定に向けて諮問をいただいた。 ○第1回審議会後、市役所内では庁内の推進体制である「幹事会」が3回開催され、副市長以下、審議会に向けて計画素案を練り上げてきたと事務局から報告を受けている。 ○本日の第2回審議会では、事務局から前期計画の振り返りや市民アンケートの結果などについて共有があるため、それらの情報を踏まえつつ、委員の皆さまから計画素案に対して意見出しを行っていただく。特に、分野別施策については、審議会終了後、各施策部門に分かれた部会で集中的に意見交換が行われる。 今後、11月開催予定の第4回審議会までに計画素案の大筋の完成を目指したいと考えているが、今回の会議が最も委員の意見を反映しやすいタイミングであるため、特に積極的な意見出しをお願いしたい。 長時間の会議となるが、是非皆さまの積極的なご意見を期待している。

3 協議事項 (1)佐渡市総合計画(後期基本計画)の位置づけについて

発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(1)「佐渡市総合計画(後期基本計画)の位置づけについて」事務局に説明を求める。
総合政策課 福島課長補佐	○資料 No.1 を用いて説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。 ※意見・質問無し

3 協議事項 (2)前期計画の振り返りについて

発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(2)「前期計画の振り返りについて」事務局に説明を求める。
総合政策課 福島課長補佐	○資料No.2を用いて「佐渡市総合計画 前期計画(令和4年度から令和8年度)の振り返り」について説明

総合政策課 和田主事	○資料 No.3-1 を用いて「令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金) 効果検証」について説明 ○資料 No.4-1 を用いて「令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 効果検証」について説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。 ※意見・質問無し
3 協議事項 (3)アンケート、ワークショップ実施結果の検証について	
発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(3)「アンケート、ワークショップ実施結果の検証について」事務局に説明を求める。
総合政策課 山本調査員	○資料 No.5 を用いて説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。 ※意見・質問無し
3 協議事項 (4)第3期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	
発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(4)「第3期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」事務局に説明を求める。
総合政策課 福岡課長補佐	○資料 No.6 を用いて説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。 ※意見・質問無し
3 協議事項 (5)計画素案の審議について	
発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(5)「計画素案の審議について」事務局に説明を求める。
総合政策課 福岡課長補佐	○資料 No.7 を用いて説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。
A 氏	○「重点的・横断的な取組」骨子(案)(資料 No.7-2)」について、「重点的」とは一般施策と比較して、予算、人員、専門人材、組織体制、官民連携等を優先的に資源配分するという認識でよろしいか。 ○また、総合計画に掲げる施策は、実施計画や財政計画、毎年度の予算編成と具体的にどのように連動するのか。 審議会として後期基本計画を答申する以上は、何を実施するかだけでなく、どのような財政的な裏付けによって実現するかについても確認する必要があると思われる。市の資料でも総合計画の土台として財政計画が示されているが、予算額を計画本文に記載するだけではなく、財政計画との接続を見せていただきたい。
総合政策課 福岡課長補佐	○「重点的」とは、当初予算の主要事業とも連動する整理となるが、5つの「重点的・横断的な取組」に紐づく取組みに対して、市で有する予算や人員を含めた資源をより強く、重点的に注いでいく事業と考えている。 ○総合計画の策定は本審議会でご審議いただいているが、庁内体制としては「予算要求(財政課)」、「行政改革(総務課)」、「総合計画(総

	合政策課)」の3要素の整理を連動して進めているところ。具体的には、一から新しい事業を実施するわけではなく、前年度からの継続事業と、新規事業の検討を連動して整理しなければならないため、現在、全課の予算事業を3課連携で精査している。また、各予算事業における総合計画上の位置づけについては、大きな方向性を後期基本計画内の「基本方針」や「施策の展開」で一定の整理をしつつ、毎年度見直しが行われる実施計画(資料 No.1 イメージ図参照)において、基本計画や予算との位置づけを整理していく予定。
A 氏	○佐渡市スポーツ推進計画策定に携わったが、新たな施策を実施する際、人口減少・高齢化・担い手不足の中で人材や予算が増えることはなく、その結果、市職員が業務上乗せにより実施しなければならない状況となり、事業を縮減する関係上、形式的に今までやってきた活動は計画上達成したため縮減するという整理になってしまった。このような整理とならないよう、今年度、スポーツ推進計画が後期に入った際には何とか予算を確保するよう意見した。 ○総合計画は、予算や人的な保障をしっかりと確保した中で組み立てなければ、これだけ大勢の方がいらっしやっても絵に書いた餅になるのではないかと心配する。
総合政策課 福島課長補佐	○新規事業を実施する際はこれまで実施してきたことを見直し、資源をしっかりと配分し直さないといけない。 これまで実施してきたことをやっていくだけでは、これから立ちいかないことは全庁的にも共通了解になっており、財政所管的なところも大きいですが、先ほどご説明した3課連携による事業整理は、既存事業を削ることもしながら、新規事業を作っていく視点を大事にしているためしっかりと精査し、やめるべきことはやめて、やるべきことをやるという形で整理を進めている。
A 氏	○後期基本計画全体を見ると、現在あるものをどう維持するかという守りの色が強く感じられ、誰が 10 年後・20 年後の佐渡を作るのかという点が弱いと思われる。国が 7 月 21 日に示した「地域未来戦略の全体構成(資料 No.6)」の横断的な施策には「人的支援・人材育成」が掲げられているが、この要素が後期基本計画に足りないのではないかと。「重点的・横断的な取組」骨子(案)(資料 No.7-2)」に子どもを産み育てるという記載は出てくるが、「子どもが佐渡に希望を持って成長する」、「将来を担う人材を育てる」ということとはまた別の視点・課題であるため、横断的に人材育成と記載いただいた方がよいと思われる。
総合政策課 福島課長補佐	○市政の各所で出てくる「地域教育」という言葉に象徴されているとおり、人材確保・人材育成が非常に重要という視点は持っているが、現在、どのような形で進めていくかを模索している状態。人材確保・人材育成は、すべての分野に関わる課題だと思っているため、部会等の各施策の検討の中で現場感のご意見をいただきながら、各施策で盛り込んでいければと考えている。
B 氏	○「強い経済と地域循環共生圏の一体的な推進」の項目で産業基盤の内容が整理されると思われるが、「強い経済」という言葉はあるものの、佐渡市の産業基盤・産業構造の今後の展望について、当該記載だけではわからないため記載にあたって配慮いただきたい。
総合政策課	○佐渡の一番の特徴としては、トキの野生復帰に代表されるような豊かな

福嶋課長補佐	自然が大きな象徴としてある点だと考えている。その観点で「農業」、脱炭素に向けて木質バイオマスに注力していく観点で「林業」、そして、食の PR ポイントである「漁業」が挙げられる。各分野で様々な変化が生じているが、いかにその変化に対応した産業を強固に作り上げていくかが非常に重要だと思われる。 ○また、世界遺産登録により観光関連産業の市内総生産額が伸びてきているため、いかに他の地域経済と結びつけていくかも、重要になってくるとと思われる。 ○ただし、産業は広範なものであり、象徴的な産業を活かしながら、いかに他に波及させていくかという点や、前期計画間の変化を踏まえたこれからの方向性を後期基本計画の中でしっかりと据えることができるかという点が非常に重要であり、部会を含めて現場の皆様からのご意見をいただきたい。
3 協議事項 (6)策定スケジュールについて	
発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(6)「策定スケジュールについて」事務局に説明を求める。
総合政策課 福嶋課長補佐	○資料 No.8 を用いて説明
会長	○事務局の説明について、意見・質問を求める。 ※意見・質問無し
3 協議事項 (7)その他	
発言者	議題・発言・結果等
会長	○協議事項(7)「その他」については、特にないが、全体を通して意見・質問を求める。
C 氏	○市民アンケート調査結果に「市外に移りたい理由」として医療福祉・公共交通・店舗や娯楽施設が不十分という理由があったが、各事業者からすると例えば公共交通であれば、佐渡市の人口が毎年約 1,000 人ずつ減少していく中、バスを増やすことが難しい状況にあるため、不十分になっていっている。 ○佐渡市の人口が減少していく中で、将来的に国中地域に人口を集約する居住地移動や立地適正化の考え方が後期基本計画には表現されていない認識だが、基本構想に当該考え方はあるのか。
総合政策課 福嶋課長補佐	○お示しいただいた考え方は、コンパクトシティ構想のような考え方であると思われる。 ○計画期間 10 年の基本構想をベースとして各施策を練り上げていくが、コンパクトシティ構想のような考え方は 10 年よりも長期的な視点の議論になると認識しており、現状は市全体として踏み込んだ議論ができておらず、認識合わせ等ができていない状況。 ○後期基本計画では、現状の基本構想を踏まえた議論ができればと考えている。
C 氏	○佐渡に長く住んでいる方は、この話題に触れられないことがあったのかもしれないが、決して避けられない課題であり、先送りしない方がよいと思われる。
総合政策課 金子課長	○佐渡市は広大な面積を有しており、人口減少が進む中で行政改革・公共施設の適正配置・水道施設の統廃合・医療等について、どのよう

	にしたらず算も含めて効率的に進めていけるかを議論していかなければならない。 ○現在の基本構想は残り5年間となっており、今回はまず基本構想に基づく後期基本計画を議論いただきたく、コンパクトシティ構想のような考え方に佐渡市として舵を切っていくかは、別の場で議論させていただきたいと考えている。
会長	○議事終了のため、進行を事務局へ返す
4 閉 会	
発言者	議題・発言・結果等
総合政策課 福島課長補佐	○第3回審議会と第2回部会を10月に開催予定であり、改めて連絡させていただく。 ○以上、閉会